

## 積水ハウスが鳳ホールディングスを連結子会社化—直ちに格付に影響せず、今後のシナジー効果などに注目

以下は、積水ハウス株式会社（証券コード：1928）が持分法適用関連会社である鳳ホールディングスを連結子会社化することを決議したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

鳳ホールディングス（鳳 HD）は、鴻池組の発行済株式全てを保有する持株会社である。当社は 15 年 11 月に鴻池組との業務提携を結び、16 年 1 月に鳳 HD を持分法適用関連会社（議決権 33.3%）とした。これまで、鴻池組が持つ建築・土木に関する経営資源を活用することで、マンションやホテルなどの開発型ビジネスでの協業、情報連携による建築請負の受注獲得といった一定のシナジー効果を創出してきた。さらなる協業分野の拡大を図るためには、より関係性を強固にする必要があると判断し、今回、鳳 HD（子会社である鴻池組を含む）を連結子会社化することを決定した。JCR では本件が直ちに格付に影響を与える事象とは考えていないが、子会社化の影響を含めた業績・財務面の動向や事業シナジー効果などに注目していく。

（担当）里川 武・川越 広志

### 【参考】

#### 発行体：積水ハウス株式会社

長期発行体格付：AA

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル